

## 学校給食費未納問題について

### 問

一・二〇〇六年度伊予市内小中学校の給食費未納者の実態について

二・未納者の一掃、減少のため納付方法の徹底、学校任せにせず、市の対応・対策を伺いたい。

### 答

上田教育長

二・未納者対策として、経済的な問題がある保護者に対しては生活保護による教育扶助や就学援助制度の活用などを指導している。

竹本 清 議員



給食費未納問題は、今後とも根気強く保護者への督促を行うとともに、大洲市のように、簡易裁判所に支払督促の申し立てを行い、最終的には

財産の強制執行することも可能な法的措置も視野に入れて対応したい。  
保護者負担の原則と公平性から、今後とも未納解消に取り組みたい。

### 答

教育委員会  
事務局長

一・平成十九年度十一月末現在で、小学校四校で十五人、三千三百三十五円、中学校は三校で三十人、三十五万八千三百三十五円で、未納率は全児童・生徒の1.30%である。

平成十九年度は、経済的な問題がある世帯二世帯、規範意識に問題のある世帯が八世帯であると考えている。

### 問

家庭ごみ収集について

一・不法投棄に対する監視体制は。

二・可燃ごみ有料化による昨年度のごみ減量と経済的効果について

三・四月からのごみ収集方法の変更と週三回の回収が二回に、プラスチック容器分別方法はどうか。



ごみ収集所

### 答

中村市長

一・現在、不法投棄が繰り返される場所を中心にパトロールをしているが、不法投棄はほとんど夜間に行われ、現場を摘発するのは難しい。

今後は、不法投棄を未然に防止するため、監視カメラの設置等監視体制の強化について検討したい。

### 答

市民福祉部長

二・可燃ごみの量は伊予市分が約17%、松前町分が約20%減少し、全体で約18%減少、事業系ごみも含めると、約11%の減量である。

節減される経費は、概算で約七百五十万円である。

三・収集回数の変更は、週三回のうち一回をプラスチック容器包装収集日とし、現在可燃ごみとして排出しているプラスチック容器包装は、容積費で三、四割を占めており、分別すると燃えるごみの量はかなり減少するため、収集可能と考えている。

収集日が祭日の場合も、来年度からは収集し、今後生ごみ処理機の購入補助の活用を図り、一層ごみの減量化に努めたい。

市道尾崎中村線の公園通りを伊予市の新しい名勝地にできないか

### 問

一・高木・低木の樹木を二種類にそろえられないか  
二・街路中間に植えられるヤブツバキを他の樹木へ改植できないか。

### 答

中村市長

一・尾崎側からタイサンボク、ヤブツバキ、クロガネモチ、ソメイヨシノの高木とその下にレッドロビン、ヘデラ、ア

ベリアの低木を植栽している。特に、春から夏に色鮮やかな景観をかもし出し、行き交う人々の目を楽しませてくれている。

市民を初め多くの人に伊予市の花街道として、しおさい公園の花木とともにPRしたい。

二・ヤブツバキの改植は、造園業者等の知恵を借り、様子を見ながら改植も含め検討したい。

現在ある百五十一本の桜は大切に管理したいが、高木である桜は不向きであると思われるので、ヤブツバキを桜に改植することは考えていない。



市道尾崎中村線の街路樹